

第74回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成30年12月25日(火) 午前10:00～11:30
2. 開催場所 COM倶楽部会議室(箕面市船場東2-5-47 COM3号館5階)
3. 委員の出席 委員総数 6名
- 出席委員 6名
- 出席委員の氏名 稲垣千秋、須貝昭子、桑田政美
高谷和彦、神垣美代香、中川弘佳
- 放送事業者側出席氏名 藤井 栄治(取締役統括部長)
大平麻由美(編成課長)
小川 亮(編成課員)
4. 議 題 1) 番組 箕面の中学2年生の職場体験
2) 審議
3) その他番組に対する意見
5. 議事の概要 事務局挨拶の後、稲垣委員長が議長となり審議となる。

6. 審議内容

1) 番組

(1) 事務局より番組説明

タッキー816では、毎年、箕面市の中学2年生の職場体験を受け入れています。今年は、6校（箕面市立第二・三・四・五・六中学校、関西大倉中学校）から9人がやってきました。

放送では、各学校の紹介や自分のことを、ラジオの前のみなさんに分かりやすく伝えていただいています。

体験は2日間で、初日に生放送の見学や学校紹介原稿を作成し、ラジオ番組がどのように作られているのかを知り、2日目に生放送に出演し、実際に学校の紹介やおすすめ曲の紹介、2日間の体験をまとめたブログ用記事の作成などを行います。また、放送内でアシスタント（原稿整理、選曲など）的な仕事や、生中継や取材に同行するなどの体験もしていただいています。

ラジオに興味がある中学生に、ラジオ局の仕事を身近に体験してもらうことで、タッキー816を知ってもらい、今後聞いてもらうきっかけになると考えています。また、彼らを通して、保護者のかたや先生、クラスメイトが番組を聴くきっかけにもなり、一般のリスナーのかたも、いまどきの中学生が何を考え、何に興味をもっているのかを知ることができます。

さらに、職場体験を受け入れることで、取材で学校に伺う際にコミュニケーションが取りやすくなり、中学校の行事なども知ることができます。職場体験生が、高校生や大学生になって、今度はスタッフとして関わってくれている例もあります。意欲のあるかたには、街かどレポーターとして登録してもらい、定期的に身近なレポートを届けていただいています。

(2) 審 議

委員 A：中学生の意見ははっきりしていて良かった。こういった受け入れは続けていくべきだと思います。せっかくなのでタッキーについてのアンケートをとって見たらどうか。

委員 B：学校周辺の話などをしていたが、市外の人には全く分からないので、丁寧な説明が要る。プロのバレーボール選手に直接質問していたことはとても良い経験になったと思う。

委員 C：中継時の音声聞き取りにくかった。状況説明はもっと細かい方が良い。流行りものなど、一般に知られていない事や物についての言葉のフォローが必要。事前に中学校へ広報するなど、生徒たちへの周知もやってほしい。

委員 D：学校をもっと巻き込んでいけたらいい。小・中学生に話題になる番組は何かを考える良い機会。どんな番組なら聴きたくなるかを考えてもらったらどうか。

委員 E：声のレベルの違いが気になった。今の中学生は発表慣れしている印象。今後も続けていくべき取り組み。

委員 B：今後、発信力の強いキーパーソンを巻き込んで 30～50 代のぶっちゃけトーク的な番組があればおもしろい。SNS を利用している世代を巻き込んで、箕面を活性化させるための話し合いの場として好きなことを自由に話せる番組などはどうか。

委員 C：ホームページに学生向けの番組をまとめるなど、子ども、音楽などカテゴリー分けができないか。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<http://company.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

平成 30 年 12 月 25 日

箕面FMまちそだて株式会社

番組審議会